

「芳野が好き」 1学期の「芳野学」

本校では生活科や総合的な学習の時間に「芳野学」を学んでいます。これは、その名の通り芳野について学ぶ学習です。「芳野学」では、学校外の方を講師としてお願いし、講話や体験活動の指導を頂いたりしています。今回の学校だよりでは、1学期に実施した「芳野学」の一部を紹介します。

ふるさと芳野の自慢はこれだよ

5月に中学年の子どもたちが「芳野の自慢」を考えました。これは東海大学熊本キャンパス教授の小林先生からご指導いただいた「芳野学」です。エコツーリズム研究会の学生さんたちも参加し、芳野のよさを出し合いました。そして班ごとに芳野のよさのキャッチフレーズを披露しあいました。



芳野ではこんなものが収穫できる

3年生が4月にタケノコ収穫を、6月にはジャガイモ収穫を体験しました。タケノコ収穫は岳地区の東山様、ジャガイモ収穫は学校評議員の西村様をはじめとした野出中間山の皆様のご支援で体験しました。タケノコもジャガイモも大量に収穫でき、子どもたちは大喜びして自宅へ持ち帰りました。



芳野をホタルの飛び交うふるさとに

例年7月、5年生は河内川で環境保全学習に臨みます。これはせせらぎ会の中川様などを講師として取り組む社会参画体験です。その活動へ向けて、1か月間、教室でホタルの幼虫を飼育しました。肉眼では見つけにくい幼虫です。来夏、夜の河内川を乱舞するホタルの明滅が楽しみです。



漱石の秘密も知ってしまった!

6月、6年生が「漱石学習」に取り組みました。この学習は二十年ほど前に行われており、昨年度から復活させた学習です。天水町にある草枕交流館の村田館長先生にご講話いただきました。漱石に造詣の深い村田先生からは、あまり知られていない漱石のエピソードも聞くことができました。



2学期以降も「桜の授業」等の全校一斉や「野出春日神社神楽体験」等各学年での「芳野学」が待っています。「芳野学」を通して、ふるさと芳野を誇りに思い、地域の頼もしい創造者として育つことを願っています。

【通知表について】令和二年度から、熊本市立小中学校では通知表のお渡しは秋と年度末の二度になっています。一学期末に通知表に代わる書面等のお渡しはありません。